

 COMHALTAS

# SCT

## Scrúdú Ceol Tíre

Traditional Irish Music Examinations  
Syllabus - 2016 Edition

Administered by Comhaltas Ceoltóirí Éireann

伝統アイルランド音楽試験  
シラバス 2016年改定版

日本語版



*Ai Roinn  
Ealaíon, Oidhreacht agus Gaeltachta*  
Department of  
Arts, Heritage and the Gaeltacht



AN ROINN GNÓTHAÍ EACHTRACHA AGLIS TRÁDÁLA NA hÉIREANN  
DEPARTMENT OF FOREIGN AFFAIRS AND TRADE OF IRELAND

# SCT

## Scrúdú Ceol Tíre

Administered by  
COMHALTAS CEOLTOIRÍ ÉIREANN

---

TRADITIONAL IRISH MUSIC EXAMINATIONS

Syllabus - 2016 Edition

**Director / Chief Examiner**  
Oisín Mac Diarmada

**SCT Examination Board**  
Majella Bartley  
Attracta Brady  
Kieran Hanrahan  
Jim McAllister  
Brenda McCann  
Kathleen Nesbitt  
Odhrán Ó Casaide  
Martin Power  
Paddy Ryan

**SCT Examination Office**  
Clasac  
Alfie Byrne Road  
Clontarf  
Dublin 3  
Ireland

[sct@comhaltas.ie](mailto:sct@comhaltas.ie)  
<http://sct.comhaltas.ie>

Graphic Design & Layout: Fernando Marcos

## 卓越性を追求して

上院議員・CCÉ 事務局長 Labhrás Ó Murchú (ラウロス・オマラクー)

伝統アイルランド音楽試験は、1998年12月にメアリー・マカリース大統領（当時）によって成功裏に立ち上げられました。この試験制度は、アイルランド伝統音楽の盛り上がりレベル向上の好事例といえます。アイルランドの伝統音楽は、国内に限らず世界で賞賛される地位にまで高まり、今日にいたります。

また、若者は技能を磨き、レベルを向上したいと思うものですが、このような挑戦への姿勢は、今日の伝統音楽の若手奏者にもあてはまります。彼らは、優れた演奏力、応用力、革新的な芸術性を披露し、国内外で賞賛されています。また、若手奏者たちは、先駆者から受け継いだ伝統に真摯に向き合うと同時に、独自の音楽性を表現しながら、芸術へ情熱を注いでいます。

現在、アイルランド伝統音楽は、必要とされるあらゆる人材を投入し、教育およびあらゆるレベルにおいて認知され、平等に扱われるべきだと一般的に考えられています。近い将来、このような状況が達成されることを願っています。

教育省の元音楽監督官を務めた故 Micheál Ó hEidhin (ミホール・オハイン) は、専門的・伝統的な知見に基づき SCT の発展に尽力し、試験シラバスの作成に惜しみない支援を提供してくれました。その過程では、Dr. Antóin Mac Gabhann (アントン・マックギャバン) 博士、Dr. Tomás Ó Canainn (トマス・オカノン) 博士、Séamus Mac Mathúna (シェイマス・マックマフーナ)、Máirtín de Paor (マーティン・デポエア)、Micheál Ó Briain (ミホール・オブリアン)、Lourda Griffin (ルアダ・グリフィン)、Micheál Ó hAlmhain (ミホール・オハルーン)、Mary Nugent (メアリー・ニュージェント) 諸氏が所属する CCÉ プロジェクト委員会の協力をいただきました。さらに、Noel Hill (ノエル・ヒル)、Kathleen Nesbitt (キャスリーン・ネズビット)、Paddy Ryan (パディー・ライアン) 諸氏からの支援もいただきました。オハイン氏のプロジェクトの成功に支援をいただいたすべての方々に心より御礼申し上げます。

CCÉ 最高評議会、ならびに世界中の会員は、SCT が今後も発展することを確信しています。SCT は、アイルランドの文化的な生活、世界中のアイルランド人と友人たちにとってたいへん画期的な功績であります。

上院議員・CCÉ 事務局長  
Labhrás Ó Murchú (ラウロス・オマラクー)

## 伝統音楽教育の重要性

ディレクター 主席試験官 Oisín Mac Diarmada オシーン・マクディアマダ

1990年代後半に伝統アイルランド音楽の試験制度を発展のために陣頭指揮をとった Micheál Ó hEidhin (ミホール・オハイン) (1938-2012) SCT 創設ディレクターが掲げた理念は、2016年版発行の本シラバスのなかで賞賛され続けています。

1999年からはじまった SCT 試験の段階別グレード審査は、伝統アイルランド音楽の指導者と生徒に重要な習得支援を提供するための制度です。試験開始以降、アイルランド国立音楽アカデミーとの連携で実施され、これまでのべ5万人以上が受験しており、その間に蓄積された貴重な情報は、改定版シラバスの作成に貴重な参考資料になりました。伝統アイルランド音楽が大学教育(サードレベル)のなかで一分野として確立されて以降、SCTのような取り組みは、伝統音楽コミュニティにおける広義の音楽技術の全般的な発展に寄与する役割を果たしてきました。

教育専門家チームによって組織される SCT 委員会は、大きな役割を果たしており、SCT シラバスの改定においても多大な貢献を果たしています。長年にわたり教員や親との連絡窓口として献身的に尽くしてくれた、SCT 事務局担当の Jim McAllister (ジム・マカリスト) 氏と Clasaic チームにも感謝します。また TTCT ディレクターである Martin Power (マーティン・パワー) 氏と並んで、CCÉ 総務担当 Siobhán Ní Chonaráin (シボーン・ニコノラン) 氏からの助言と専門知識は、この取り組みの教育的効果を高めるために重要な役割を果たしてくれました。特に、分散型試験センターモデルの実践のために、各試験地に赴くために遠い距離移動をしてくださったアイルランドとアメリカ合衆国の試験官の皆さまに、心からお礼を申し上げます。多くの熱心な音楽教師の方々とのつながりは、この16年間、試験を無事に実施する上で不可欠なものでした。そして、生徒の教育ニーズに応えるために、今後も音楽教育実践者との活発な連携を継続してゆくことを期待しています。

2016年版に追加された上級演奏家認定試験シラバスは、特筆すべき発展の一つです。リサイタル形式の認定試験は、ソロ演奏の技能を高める SCT 制度のなかの最上位のグレードであり、TTCT Teaching Diploma コースに繋がるグレードとして位置付けられています。今後の SCT がますます発展し、国際的に広がるなかで、Micheál Ó hEidhin (ミホール・オハイン) の残した遺産が引き継がれていくことを心から祈っています。今後ともご支援をいただきますようお願い申し上げます。

SCT ディレクター・主席審査官  
Oisín Mac Diarmada オシーン・マクディアマダ

## 日本語版シラバスについて

伝統アイルランド音楽試験シラバス 2016 年改定版は、英語版を忠実に訳したものです。英語版と日本語版に齟齬が生じる場合、英語版を優先するものとします。

分かりにくい表現、誤訳などがある場合、適宜修正を反映いたしますので、以下にご連絡いただけますようお願い申し上げます。

なお、日本での試験は、実施要領に沿って実施されますので、ウェブサイト、フェイブック等の情報をご確認ください。

本文中の略語は以下の通りとする。

eg 例  
ie 言い換えると  
and ……と  
or または  
etc など

CCÉ ジャパン

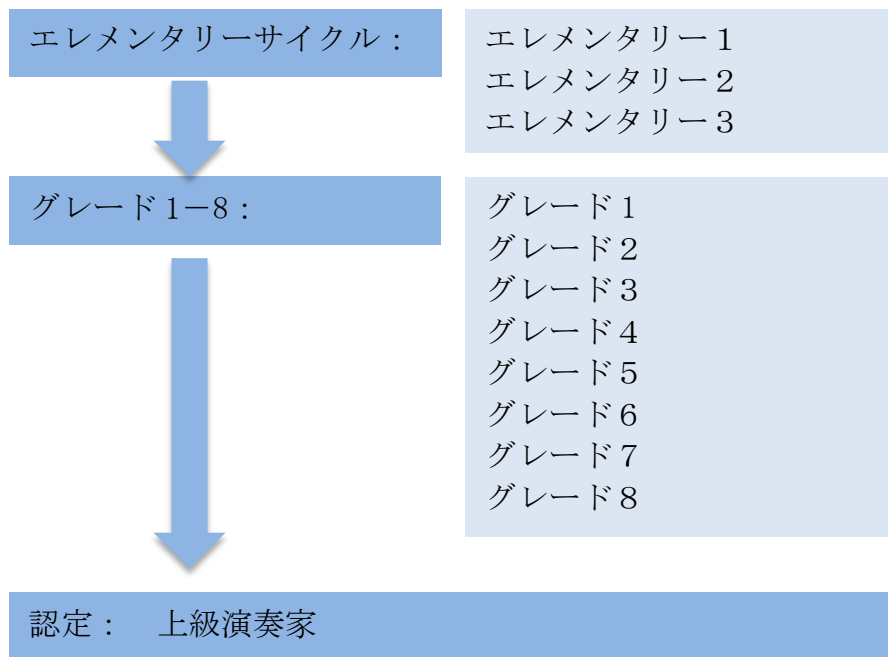
ceol@comhaltas.jp  
<http://comhaltas.jp/>

## 目次

指導者と生徒へのガイドライン .....	i
一般規定 .....	iii
エレメンタリー 1 .....	1
エレメンタリー 2 .....	2
エレメンタリー 3 .....	4
グレード 1 .....	6
グレード 2 .....	8
グレード 3 .....	10
グレード 4 .....	12
グレード 5 .....	14
グレード 6-8 ガイドライン .....	16
グレード 6 .....	17
グレード 7 .....	19
グレード 8 .....	21
上級演奏家認定 .....	23
エレメンタリーサイクル 推奨曲 .....	1
グレード 1-5 推奨曲 .....	2
グレード 6-8 推奨曲 .....	4

## 指導者と生徒へのガイドライン

1. SCT 試験制度は 12 段階のグレードに分かれる。



試験は、4つのセクション「パフォーマンス（実技）」、「オーラルアウェアネス（調音）」、「ディスカッション・レポーター（質疑応答）とリサーチプロジェクト（グレード6-8のみ）」、「リテラシー」で構成される。全体の得点とグレードは、各セクションの得点の合計点に基づき決定する。

エレメンタリー1 - グレード5	得点配分
A) パフォーマンス	60
B) オーラルアウェアネス	15
C) ディスカッション・レポーター	15
D) リテラシー	10

グレード6-8	得点配分
A) パフォーマンス	60
B) オーラルアウェアネス	10
C) リサーチプロジェクト ディスカッション・レポーター	20
D) リテラシー	10

全グレード得点カテゴリー	
可 Pass	40%–59%
良 Merit	60%–74%
優 Honors	75%–89%
秀 Distinction	90%–100%

上のグレードに進むためには、最低得点率 40%かつパフォーマンスセクションで 24%以上を取る必要がある。「可」に満たない場合、次の試験期間に再受験することを推奨する。

上級演奏家認定試験を受けるには、グレード 8 の試験で 75%（優）以上の成績を修めることが必須要件となる。

## 上級演奏家認定

上級演奏家認定は、グレード 6 と 7 に合格し、さらにグレード 8 で「優」以上の成績を修め、特筆した演奏技能のある奏者を対象とした、リサイタル形式の試験である。

40–45 分のソロリサイタルは、対象となる楽器を専門とする試験官を 1 名以上含む試験官によって審査される。

得点配分	得点
曲の解釈	45 点
演奏技術	35 点
演目の選定	10 点
ステージでの演奏	10 点



2. SCT 制度は、アイルランド伝統音楽の評価に特化して考案された試験制度である。
3. 試験官は、シラバスに挙げられている課題曲のすべて、または一部を演奏するよう指示する場合がある。試験官の指示がない場合、通常各曲を2回繰り返し演奏する。ただし、シングルリールの場合は、3回繰り返し演奏する。
4. 受験者は、試験の演奏課題曲のほか、学んだ曲のレパートリーリストを試験官に提出すること。リストは、曲のカテゴリーごとに番号を振り、手書きまたはタイプする。  
シラバスには、各グレード試験の推奨曲を紹介している。ハーブおよびピアノの受験では、レパートリーリストの曲として左手の伴奏パートの提出は必要ない。
5. 楽器のチューニングと準備は受験者自身が行う。
6. 試験中ほかの楽器の伴奏を伴うことはできない。
7. 試験では、一つ前のグレードのシラバスの教材から出題されることがある。
8. エレメンタリー1 からグレード2 までのパフォーマンスセクションでは、エアーを演奏するよう指示される。その場合、ゆっくりしたアイルランド伝統曲であればよく、正確な拍子をつけてもつけなくてもよい。  
グレード3 以上の場合、スローエアーを演奏するよう指示された場合、正確な拍子をつけなくて、歌またはインストエアーのどちらかの代表的な曲を演奏する。
9. パフォーマンスセクションでは、楽譜を見て演奏してはならない。ただし、記憶の補助として、曲の冒頭部分のみを記することは認める。
10. オンラインのエントリーシステムに含まれていない楽器で受験する場合は、受験申込締切日より余裕をもって SCT 事務局に連絡をしなくてはならない。
11. 演奏曲は、シラバスの 24–29 ページに記載された推奨曲から選択する。もしくは、受験者が推奨曲と同等かつふさわしいレベルの曲を独自に選曲することができる。
12. グレード8 で、「秀」の成績を修めた受験者には、卓越したレベルに達した奏者であることの証として、Mícheál Ó hEidhin (ミホール・オハイン) メダルが授与される。

## 一般規定

1. はじめて受験する場合は、全体の能力に合ったレベルから受験することが重要である。指導者と相談の上、グレードを選択すること。シラバスに記載された要素をすべて入念に考慮することが大切である。

グレード6を受験する場合、受験地において、その年の1月1日に14歳に達していなければならない。年齢を証明するために、年齢証明書またはパスポートを提示するよう求められる場合がある。

上級演奏家認定の受験者は、グレード6、7、8を受験し、さらにグレード8では「優」以上を修めなくてはならない。グレード6、7、8の試験では、リサーチプロジェクトを受験申込に添えて提出すること。提出の詳細については、シラバスを参照すること。

### 2. 試験実施場所

試験は、アイルランド、英国、米国の受験センターで実施される。センターは、試験に適切な場所が選定される。通常、25名以上の受験者が集まった場所で実施されるが、事情によっては、少人数の受験者のリクエストでも、センターの開設が考慮される。

### 3. 試験日

春または夏（3月末から6月初旬）受験者は、受験日（日曜日を含む）に試験地に赴くことができる準備をしておく。

都合の悪い日程の詳細の手紙をエントリーフォームに添えて提出することができる。要望は考慮されるが、希望日程を避けることを保証するものではない。受験日、時間が決定した場合、変更は不可能。

### 4. 受験料、受験方法、エントリー締切

受験料とエントリー締切日の詳細は、SCTウェブサイト <http://SCT.comhaltas.ie> を参照すること。Comhaltas、学校、教員、親、保護者を通して受験申込することも可能。

受験申込は、SCTウェブサイトまたは、ウェブサイトからダウンロードした公式エントリーフォームで行なう。エントリーフォーム提出後に変更する場合、追加費用の支払いを求められる場合がある。エントリーフォームに記載された順番で、受験者に予約時間が設定される。

エントリーフォームと受験料全額を締切日までに、SCT事務局に提出、納付すること。SCT事務局とのすべての連絡は、以下の電子メールアドレスに送信する。  
SCT@comhaltas.ie

締切日を過ぎた受験申込は受け付けられない。

各受験者は、オンラインでエントリー手続きを行ったのち、すみやかに受験料の全額を小切手（受取人 Comhaltas Ceoltoiri Eireann）で郵送する。または、オンラインエントリーシステムを利用しない場合、エントリーフォームに小切手を添付する。セキュリティの観点から、現金での受験料支払いは受け付けない。

グレード6-8の受験者の場合、PDFまたはWord形式の研究プロジェクトの写しを、電子メールに添付し、試験前の3月1日午後5時までに、SCT事務局に提出する。

研究プロジェクトには、SCTウェブサイトからダウンロードしたカバーシートを付けて提出する。指定日以降に提出された研究プロジェクトは、審査されず、このセクションの得点は加算の対象外となる。

#### 5. アイルランド語での受験

申込の時点で、アイルランド語での受験の要望がある場合、実施可能。

#### 6. 特別な配慮が必要な受験者

特別な配慮が必要な受験者は、エントリーの時点で、希望した施設が提供されれば受け付ける。すべての受験者は、同じ基準で審査される。

#### 7. 受験日時の告知

試験官が受験センターに来場する受験日とすべての受験者の時間割が記載された告知は、可能な限り速やかに受験者（Comhaltas支部、学校、教師、親、保護者）に通知する。

受験者は、時間割に記載された時間に来場し受験すること。試験官は、すべての受験者に対して受験時間の変更を認めない。特別な事情がある場合のみ、時間の変更が認められる。変更の要請がある場合、電子メールにてSCT事務局に通告しなくてはならず、変更手配に対して追加費用が発生する。要請の手続きを迅速に処理するため、事務局への連絡には受験番号を必ず明記する。電話での問合せは受けない。指定された時間に出席しない受験者は、欠席の扱いとする。

## 8. 欠席

指定された試験日時に出席できなかった受験者の受験料は、病気が理由の場合以外には、返金されない。病気の場合は、SCT事務局に診断書を提出する。その場合、試験日の7日後以内にSCT事務局に病欠の連絡をしなくてはならない。学校の試験や旅行、家族の休暇などを理由とした日程変更は、エントリーフォームに明記されていない限り受け付けない。その日程は特殊事情日として要請すること。回避日の要請は、考慮されない。SCT事務局の裁量によって、エントリー料の一部を返金するかどうかを決定するか、または、別の日程で試験を手配する場合がある。

## 9. 試験結果

SCT事務局は、各受験者に詳細を記載した結果票と認定証を郵送する。それらの複製は作成されない。郵送による結果票と認定証の発送の不達に対する責任は負わない。

SCT事務局は、結果に関する電話での問合せには応じない。結果に異議申立がある場合、書面にてSCT事務局 Clasa 局, Alfie Byrne Road, Clontarf, Dublin 3宛てに試験結果を受け取り後30日以内に連絡する。書面での不服申し立てとともに、50ユーロを支払い、異議申立が受理された場合、返金される。異議申立は、SCT事務局委員会によって審議され、その結果は30日以内に通知される。SCT事務局による決定が最終決定とする。

## エレメンタリー 1

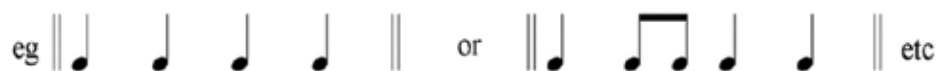
### パフォーマンス 60 点

2 曲を以下の指示通りに演奏しなさい：

自身で選択した 2 曲（どんなタイプの曲でも可）を演奏しなさい。

### オーラルアウェアネス 15 点

- 1) 4 分の 4 拍子の 1 小節のリズムを試験官が 2 回示す通りに、手をたたいて再現しなさい。



- 2) 試験官が 2 回演奏する 8 小節のメロディーがどのタイプの曲であるか答えなさい。（エアーまたはポルカ）
- 3) 試験官が楽器でランダムに 2 回演奏する 5 度の差の「レ」と「ラ」の順番を聴き分けなさい。

### ディスカッション・レパートリー 15 点

伝統音楽のなかで何に関心をもっているか、また、伝統音楽をどのように、どこで学んだか、さらに、自身が演奏する楽器以外の伝統楽器に関する知識などについて試験官と簡単な質疑応答を行いなさい。

### リテラシー 10 点

下の「レ」からオクターブ上の「レ」の音の楽譜を初見で演奏しなさい。



## エレメンタリー 2

### パフォーマンス 60 点

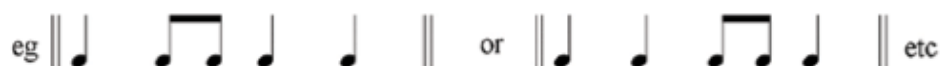
2 曲を以下の指示通りに演奏しなさい：

自身で選曲したエアーとダンスチューンを各 1 曲ずつ演奏しなさい。

注：エアーは、シラバスの 24 ページに掲載された推奨曲の基本エアーリストから選曲するか、他のゆっくりとした伝統曲を選曲することができる。

### オーラルアウェアネス 15 点

- 1) 4 分の 4 拍子の 1 小節のリズムを試験官が 2 回示す通りに、手をたたいて再現しなさい。



- 2) 試験官が 2 回演奏する 8 小節のメロディーがどのタイプの曲であるか答えなさい。（エアーまたはマーチ）
- 3) 試験官が楽器でランダムに 1 回演奏する 5 度または 6 度の差の「レ」と「ラ」または「シ」の順番を聴き分けなさい。

### ディスカッション・レパートリー 15 点

音楽レッスンと練習スケジュールの関係で気づく変化について説明し、自身が演奏する楽器以外の楽器に関する知見を述べなさい。

パフォーマンスセクションで演奏した曲以外に最低 2 曲を含むレパートリーリストを提示しなさい。レパートリーリストに挙げた曲は、すべて演奏でき、それぞれの曲の特徴などについて説明できなければならない。

## リテラシー 10点

下の「レ」からオクターブ上の「レ」、下の「ソ」から上の「ソ」の音の楽譜を初見で演奏しなさい。



## エレメンタリー 3

### パフォーマンス 60点

3曲を以下の指示通りに演奏しなさい：

自身で選曲したエアー、マーチ、ダンスチューンをそれぞれ1曲ずつ演奏しなさい。

注：エアーは、シラバスの24ページに掲載された推奨曲の基本エアーリストから選曲するか、他のゆっくりとした伝統曲を選曲することができる。

### オーラルアウェアネス 15点

- 1) 4分の4拍子の2小節のリズムを試験官が2回示す通りに、手をたたいて再現しなさい。



- 2) 試験官が2回演奏する8小節のメロディーがどのタイプの曲であるか答えなさい。(エアー、ポルカ、ダブルジグ)
- 3) 試験官が、レ、ファ#、ソ、ラを使ったDメジャーのキーで、2小節のフレーズを上記1)と同じリズムで3回演奏します。それを再現して演奏しなさい。

### ディスカッション・レパートリー 15点

伝統音楽への関心と経験について試験官と質疑応答を行いなさい。自身が演奏する楽器とその楽器を演奏する著名な演奏家の名前を含む知見を述べなさい。

パフォーマンスセクションで演奏した曲以外に、最低5曲を含むレパートリーリストを提示しなさい。レパートリーリストに挙げた曲は、すべて演奏でき、それぞれの曲の特徴などについて説明できなければならない。



**リテラシー 10点**

下の「レ」からオクターブ上の「レ」、下の「ソ」からオクターブ上の「ソ」、  
下の「ミ」からオクターブ上の「ミ」の音の楽譜を初見で演奏しなさい。



## グレード 1

### パフォーマンス 60点

3曲を以下の指示通りに演奏しなさい：

エアー、ポルカ、ダブルジグをそれぞれ1曲ずつ演奏しなさい。

注：エアーは、シラバスの25ページに掲載された推奨曲の基本エアーリストから選曲するか、他のゆっくりとした伝統曲を選曲することができる。

### オーラルアウェアネス 15点

- 1) 4分音符と8分音符が組み合わされ、2分音符で終わる4分の4拍子の2小節のリズムを試験官が2回示す通りに、手をたたいて再現しなさい。



- 2) 試験官が2回演奏する8小節のメロディーがどのタイプの曲であるか答えなさい。(エアー、マーチ、ポルカ、ダブリジグ、リール)
- 3) 試験官が、レ、ミ、ファ#、ソ、ラを使ったDメジャーのキーで、2小節のフレーズを上記1)と同じリズムで3回演奏します。それを再現して演奏しなさい。

### ディスカッション・レポーター 15点

伝統音楽への関心と進歩について説明し、伝統音楽家の出身地域に関する知識を述べなさい。また、フラワー・キョールのような地方で開催される伝統音楽イベントに関する知見を述べなさい。

パフォーマンスセクションで演奏した曲以外に、最低 10 曲（少なくとも 3 つの異なるタイプの曲）を含むレパートリーリストを提示しなさい。レパートリーリストに挙げた曲は、すべて演奏でき、それぞれの曲の特徴などについて説明できなければならない。

### リテラシー 10 点

下の「レ」からオクターブ上の「レ」、下の「ソ」からオクターブ上の「ソ」、下の「ミ」からオクターブ上の「ミ」、「ラ」、「シ」の音の楽譜を初見で演奏しなさい。



## グレード 2

### パフォーマンス 60点

4曲を以下の指示通りに演奏しなさい：

エアー、ポルカ、リールと次のなかから選択した曲をそれぞれ1曲ずつ演奏しなさい。（シングルジグ、ダブルジグ、スライド）

注：エアーは、シラバスの25ページに掲載された推奨曲の基本エアーリストから選曲するか、他のゆっくりとした伝統曲を選曲することができる。

### オーラルアウェアネス 15点

- 1) 4分音符、付点4分音符と8分音符が組み合わされた4分の4拍子または4分の3拍子の2小節のリズムを試験官が2回示す通りに、手をたたいて再現しなさい。

eg || ♩ ♩ ♩ ♩ | ♩ ♩ ♩ ♩ ||

or || ♩ ♩ ♩ ♩ | ♩ ♩ ♩ ♩ ||

and || ♩ ♩ ♩ ♩ | ♩ ♩ ♩ ♩ ||

or || ♩ ♩ ♩ ♩ | ♩ ♩ ♩ ♩ || etc

- 2) 試験官が2回演奏する8小節のメロディーがどのタイプの曲であるか答えなさい。（エアー、マーチ、ポルカ、ダブリジグ、リール、スライド）
- 3) 試験官が2回演奏する根音「レ」に対して、「レとオクターブ上のレ」、「レーラ」、「レーファ#」の2音のいずれかの組み合わせのうち、高い音はどれか答えなさい。

- 4) 試験官が、レ、ミ、ファ#、ソ、ラを使ったDメジャーのキーで、2小節のフレーズを上記1)と同じリズムで3回演奏します。それを再現して演奏しなさい。

### ディスカッション・レパートリー 15点

音楽への関心について述べ、好んで聞く伝統音楽の音源（オーディオまたはビデオ）を例にあげなさい。複数の楽器のなかで著名な奏者、特に簡単にCD音源が入手できる奏者の名前を挙げなさい。

パフォーマンスセクションで演奏した曲以外に、最低15曲（少なくとも3つの異なるタイプの曲）を含むレパートリーリストを提示しなさい。レパートリーリストに挙げた曲は、すべて演奏でき、それぞれの曲の特徴などについて説明できなければならない。

### リテラシー 10点

下の「レ」からオクターブ上の「レ」、下の「ソ」からオクターブ上の「ソ」、下の「ミ」からオクターブ上の「ミ」、「ラ」、「シ」、「ファ#」、「ド#」の音の楽譜を初見で演奏しなさい。



## グレード 3

### パフォーマンス 60 点

5 曲を以下の指示通りに演奏しなさい：

スローエアー、ホーンパイプ、ダブルジグ、リールと次のなかから選択した曲をそれぞれ 1 曲ずつ演奏しなさい。（シングルジグ、スライド）

注：スローエアーは、シラバスの 25 ページに掲載された推奨曲のリストから選曲することができる。

### オーラルアウェアネス 15 点

- 1) 4 分の 4 拍子または 8 分の 6 拍子（ダブルジグのリズム）の 2 小節の簡単なリズムの組み合わせを試験官が 2 回示す通りに、手をたたいて再現しなさい。
- 2) 試験官が 2 回演奏する 8 小節のメロディーがどのタイプの曲であるか答えなさい。（エアー、マーチ、ポルカ、ダブリジグ、リール、スライド、ホーンパイプ）
- 3) 試験官が 2 回演奏する根音「レ」に対して、「レとオクターブ上のレ」、「レーラ」、「レーファ＃」、「レーミ」の 2 音のいずれかの組み合わせのうち、高い音はどの音か答えなさい。
- 4) 試験官が、すべてのスケールを使った D メジャーのキーで、2 小節のフレーズを上記 1) と同じリズムで 3 回演奏します。それを再現して演奏しなさい。

### ディスカッション・レパートリー 15 点

複数の楽器のなかで主要な歴史的な奏者について、またその奏者らの音楽のスタイルの基本的情報について述べなさい。

パフォーマンスセクションで演奏した曲以外に、最低 20 曲（少なくとも 4 つの異なるタイプの曲）を含むレパートリーリストを提示しなさい。レパートリーリストに挙げた曲は、すべて演奏でき、それぞれの曲の特徴などについて説明できなければならない。

## リテラシー 10点

Dメジャーのスケール1オクターブを下から上、上から下に演奏しなさい。

10から12個の4分音符または8分音符で構成されたDメジャーのキーで以下のような小節に分かれていない楽譜を初見で演奏しなさい。



4分の4拍子または4分の3拍子のいずれかの拍子の場合、小節区切りはどこに入るか示しなさい。

## グレード 4

### パフォーマンス 60 点

6 曲を以下の指示通りに演奏しなさい：

スローエアー、リール、ホーンパイプ、スリップジグと次のなかから選択した 2 曲のセットをそれぞれ演奏しなさい。（ダブルジグ 2 曲、スライド 2 曲、シングルジグ 2 曲）

注：スローエアーは、シラバスの 25 ページに掲載された推奨曲のリストから選曲することができる。

### オーラルアウェアネス 15 点

- 1) 4 分の 4 拍子、4 分の 3 拍子、8 分の 6 拍子の 2 小節のリズムの組み合わせを試験官が 2 回示す通りに、手をたたいて再現しなさい。
- 2) 試験官が 2 回演奏する 8 小節のメロディーがどのタイプの曲であるか答えなさい。（エアー、マーチ、ポルカ、ダブリジグ、リール、スライド、ホーンパイプ、スリップジグ）
- 3) 試験官が 2 回演奏する根音「レ」に対して、「レ（オクターブ上の）レ」、「レーラ」、「レーファ#」、「レーミ」、「レーソ」の 2 音のいずれかの組み合わせのうち、高い音はどれか答えなさい。
- 4) 試験官が、D メジャーのキーで、2 小節のフレーズを上記 1) と同じリズムで 3 回演奏します。それを再現して演奏しなさい。

### ディスカッション・レポーター 15 点

地域、国内、国際的に知られるアイルランド伝統音楽の代表的演奏家について、それぞれのスタイルの特徴を挙げて説明しなさい。また、地域、アイルランド国内もしくは海外で演奏される音楽の発展について述べなさい。（グループ、バンド、Comhaltas 支部やフェスティバルなど）



自身が演奏する以外の楽器について装飾音やバリエーションを含む詳しい知見を述べなさい。

パフォーマンスセクションで演奏した曲以外に、最低 25 曲（少なくとも 5 つの異なるタイプの曲）を含むレパートリーリストを提示しなさい。レパートリーリストに挙げた曲は、すべて演奏でき、それぞれの曲の特徴などについて説明できなければならない。

### リテラシー 10 点

D メジャーと G メジャーのスケール 1 オクターブを下から上、上から下に演奏しなさい。

4 分音符または 8 分音符で構成された D メジャーまたは G メジャーのキーで以下のような小節に分かれていない楽譜を初見で演奏しなさい。また、初見の譜面の調号（キー）を答えなさい。



## グレード 5

### パフォーマンス 60点

7曲を以下の指示通りに演奏しなさい：

スローエアー1曲、ホーンパイプ1曲、ダブルジグ2曲セット、リール2曲セットと次のなかから選択した曲を1曲演奏しなさい。（スリップジグ、スライド）

注：スローエアーは、シラバスの25ページに掲載された推奨曲のリストから選曲することができる。

### オーラルアウェアネス 15点

- 1) 4分の4拍子、4分の3拍子、8分の6拍子の2小節のリズム、または4分の4拍子の2小節（4分の3拍と4分の1拍でホーンパイプのように）を試験官が2回示す通りに、手をたたいて再現しなさい。
- 2) 試験官が2回演奏する8小節のメロディーがどのタイプの曲であるか答えなさい。（エアー、マーチ、ポルカ、ダブリジグ、リール、スライド、ホーンパイプ、スリップジグ、マズルカ）また、演奏された曲の中で使われた装飾音—グレースノート（カット）、トリプレット（レガートまたはスタッカート）、ロール、スライド音を答えなさい。
- 3) 試験官が2回演奏する根音「レ」に対して2音の組み合わせのうち、ダイアトニックスケール（全音階）のDメジャーの音のなかから、高い方の音を答えなさい。
- 4) 試験官が、Dメジャーのキーで、2小節のフレーズを上記1）と同じリズムで3回演奏します。それを再現して演奏しなさい。

### ディスカッション・レパートリー 15点

伝統音楽におけるアレンジの簡単な形式について、Fleadhanna Ceoil（フラーキョール）や他のコンペティション、フェスティバルで演奏しているグループの実績を踏まえながら述べなさい。また、数十年の間に伝統アイルランド音楽グル

ープによる音楽のアレンジメントの発展にも言及しなさい。

パフォーマンスセクションで演奏した曲以外に、最低 30 曲（少なくとも 6 つの異なるタイプの曲）を含むレパートリーリストを提示しなさい。レパートリーリストに挙げた曲は、すべて演奏でき、それぞれの曲の特徴などについて説明できなければならない。

### リテラシー 10 点

D メジャー、G メジャー、A メジャーのスケール 1 オクターブをそれぞれ下から上、上から下に演奏しなさい。

4分音符、8分音符付点4分音符、2分音符で構成された4分の4拍子または8分の6拍子の二小節の楽譜を初見で演奏しなさい。また、初見の譜面の調号（キー）は、G メジャー、Dメジャー、Aメジャーのどれか答えなさい。

例



## グレード6-8 ガイドライン

グレード6-8を受験する場合、グレード6から開始しなくてはならない。グレード6を受験する場合、受験地において、その年の1月1日に14歳に達していなければならない。

グレード6、7、8では、試験のなかでリサーチプロジェクトが課される。PDFまたはWord形式のリサーチプロジェクトの写しを、電子メールの添付で、試験前の3月1日午後5時までに、SCT事務局に提出する。リサーチプロジェクトには、SCTウェブサイトからダウンロードしたカバーシートをつけて提出する。指定の日以降に提出されたリサーチプロジェクトは、審査されず、このセクションの得点は加算の対象外となる。リサーチプロジェクトの課題範囲のガイドラインの詳細は、各グレードのページで詳しく説明されている。

リサーチプロジェクトの準備において、参考としたすべてのオーディオ、ビデオ、（オンラインを含む）文献の出典は明記しなくてはならず、既存の資料の捏造行為があった場合は、得点の対象として提出を認めない。

試験の **Musical Discussion** と **Repertoire** セクションにおいて、試験官とリサーチプロジェクトの内容について質疑応答を行いなさい。リサーチプロジェクトのなかの主要情報についての説明力を重視して審査する。

曲のパフォーマンスには、31-33 ページに記載された推奨曲のリストから選択してしてもよい。もしくは、受験者が推奨曲と同等レベルの曲を独自に選曲することができる。

グレード8で、「秀」の成績を修めた受験者には、卓越したレベルに達した奏者であることの証として、**Micheál Ó hEidhin**（ミホール・オハイン）メダルが授与される。

## グレード 6

### パフォーマンス 60 点

8 曲を以下の指示通りに演奏しなさい：

スローエアー1 曲、ダブルジグ 2 曲セット、スリップジグ 2 曲セットと試験官が次のなかから選択した曲を 1 曲演奏しなさい。（マズルカ、フリング、バーンダンス、ホーンパイプ、ショティッシュ、ポルカ）

注：スローエアーは、シラバスの 27 ページに掲載された推奨曲のリストから選曲することができる。

### オーラルアウェアネス 10 点

- 1) 試験官が 2 回演奏する 8 小節のメロディーがどのタイプの曲か、また何拍子の曲であるか答えなさい。（エアー、マーチ、ポルカ、ダブルジグ、リール、スライド、ホーンパイプ、スリップジグ、マズルカ、バーンダンス）
- 2) 試験官が 2 回演奏する根音を「レ」とする 3 連音のうち、ダイアトニックスケール（全音階）の D メジャーの音のうち、高い方の 2 音を答えなさい。
- 3) 試験官が、D メジャーのキーで、4 分の 4 拍子の 2 小節のフレーズを装飾音も使って 3 回演奏します。それを再現して演奏しなさい。

### リサーチプロジェクト、ディスカッション・レポーター 20 点

#### リサーチプロジェクト

グレード 6 のリサーチプロジェクトでは、著名な伝統音楽家（地域、国内または世界的に知られた）の人物紹介（伝記形式）を約 750 ワードの英作文にまとめなさい。（フィールド調査によるインタビュー、地域または国のアーカイブ訪問など）一次的な研究である証拠を示すこと。また、リサーチの参考としたオーディオ、ビデオ、（オンラインを含む）文献なども記載すること。

## ディスカッション

リサーチプロジェクトの内容について質疑応答を行いなさい。関連する情報を記憶し、議論できるかが重要である。また、地元の演奏家らと彼らのスタイルの特徴に関する知識を含む、自分の地域の音楽活動に関する知識を説明しなさい。

## レパートリー

パフォーマンスセクションで演奏した曲以外に、最低 40 曲（少なくとも 7 つの異なるタイプの曲）を含むレパートリーリストを提示しなさい。レパートリーリストに挙げた曲は、すべて演奏でき、それぞれの曲の特徴などについて説明できなければならない。

## リテラシー 10 点

D メジャー、G メジャー、A メジャー、C メジャーのスケール 1 オクターブをそれぞれ下から上、上から下に演奏しなさい。また、D のドリアンモード（レ・モード）：ミ、ファ#、ソ、ラ、シ#、ド、レを演奏しなさい。

D メジャー、G メジャーまたは A メジャーの、2 分音符、4 分音符、8 分音符、付点 4 分音符で構成された 8 分の 6 拍子、4 分の 3 拍子、4 分の 4 拍子の 4 小節の楽譜を初見で演奏しなさい。また、初見の譜面の調号は、G メジャー、D メジャー、A メジャーのどれか答えなさい。また、8 分の 6 拍子、4 分の 3 拍子、4 分の 4 拍子が記されていない初見の譜面の拍子を答えなさい。



## グレード 7

### パフォーマンス 60 点

準備してきた 15 曲のリストのなかから 9 曲を以下の指示通りに演奏しなさい：  
スローエアー1 曲、ダブルジグ 2 曲セット、スリップジグ 2 曲セット、リール 2 曲  
セットを演奏しなさい。また、シングルジグまたはスライドのどちらか 1 曲を受  
験者が選択して演奏しなさい。

また、次の曲から試験官が選択する 1 曲を演奏しなさい。（マズルカ、フリング、  
バーンダンス、ホーンパイプ、ショティッシュ、ポルカ、セットダンス）

注：スローエアーは、シラバスの 27 ページに掲載された推奨曲のリストから選曲  
することができる。

### オーラルアウェアネス 10 点

- 1) 試験官が 2 回演奏する 8 小節のメロディーがどのタイプの曲か、また何拍子の  
曲であるか答えなさい。（エアー、マーチ、ポルカ、ダブリジグ、リール、ス  
ライド、ホーンパイプ、スリップジグ、マズルカ、フリング、クランマーチ）  
また、演奏された曲の中で使われた装飾音を答えなさい。
- 2) 試験官が、D メジャーまたは G メジャーのキーで、4 分の 4 拍子の 2 小節のフ  
レーズを装飾音を使って 3 回演奏します。それを再現して演奏しなさい。
- 3) 試験官が 1 回演奏する 32 小節の曲について、G か D のド・モード（アイオニア  
ン）、または G か D のレ・モード（ドリアン）のどちらのモードであるかを答  
えなさい。またそう判断した根拠を答えなさい。

例：

ド・モード（アイオニアン）の曲：Sally gardens (Reel), Boys of Bluehill  
(Hornpipe)

レ・モード（ドリアン）の曲：Drowsy Maggie (Reel), The Sligo Maid (Reel),  
Old Man Dillon (Double Jig)

## リサーチプロジェクト、ディスカッション・レパートリー 20点

### リサーチプロジェクト

グレード7のリサーチプロジェクトでは、レコードなどに録音されている二人の著名な伝統音楽家（それぞれ1960年代以前、1960年代以降）の分析を750ワード以上にまとめなさい。二人の音源を比較対照し、該当する時代の間に見られる一貫性と変遷について説明しなさい。また、研究の際に使用したオーディオ、ビデオ、（オンラインを含む）文献を記載すること。（インタビュー、地域または国のアーカイブを訪問したなど）一次的研究に対する言及を行うこと。

### ディスカッション

リサーチプロジェクトの内容について質疑応答を行いなさい。関連する重要な情報について説明し、議論できる力を重視して審査する。また、20世紀初頭から現在までの期間わたる、様々な楽器の演奏に見られるアイルランド国内の演奏家と世界に散らばるアイルランド系の演奏家たちの演奏スタイルの進化について述べなさい。

### レパートリー

パフォーマンスセクションで演奏した曲以外に、最低50曲（少なくとも8つの異なるタイプの曲）を含むレパートリーリストを提示しなさい。レパートリーリストに挙げた曲は、すべて演奏でき、それぞれの曲の特徴などについて説明できなければならない。

### リテラシー 10点

Dメジャー、Gメジャー、Aメジャー、Cメジャー、Fメジャーのスケール1オクターブをそれぞれ下から上、上から下に演奏しなさい。また、次の2つのモードのスケールの1オクターブを下から上、上から下に演奏しなさい。Dのドリアンモード（レ・モード）：ミ、ファ#、ソ、ラ、シ#、ド、レを演奏し、次に、上から下に演奏しなさい。Dメジャーのラ・モード（エオリアン）：シ、ド#、レ、ミ、ファ#、ソ、ラ、シ。

Dメジャー、GメジャーまたはAメジャーの4分音符、8分音符、16分音符、付点音符で構成された4分の2拍子、4分の4拍子、8分の6拍子、8分の9拍子の8小節の楽譜を初見で演奏しなさい。演奏を始める前に1分間の黙読が認められる。



## グレード 8

### パフォーマンス 60点

12 曲を以下の指示通りに演奏しなさい：

スローエアー2曲、ダブルジグ2曲セット、スリップジグ2曲セット、リール2曲セット、3パート以上のリール1曲を演奏しなさい。

試験官が次のなかから選択した曲を1曲演奏しなさい。（マズルカ、フリング、バーンダンス、ホーンパイプ、ショティッシュ、ポルカ、セットダンス、克蘭マーチ、プランクスティ）

注：スローエアーは、シラバスの27ページに掲載された推奨曲のリストから選曲することができる。

### オーラルアウェアネス 10点

- 1) 試験官が2回演奏する8小節のメロディーがどのタイプの曲か、また何拍子の曲であるか答えなさい。（エアー、マーチ、ポルカ、ダブルジグ、リール、スライド、ホーンパイプ、スリップジグ、マズルカ、バーンダンス、フリング、克蘭マーチ、シングルジグ、ショティッシュ）また、演奏された曲の中で使われた装飾音を答えなさい。
- 2) 試験官が、Dメジャー、Gメジャー、Aメジャーのキーで、4分の4拍子の2小節のフレーズを装飾音を使って3回演奏します。それを再現して演奏しなさい。
- 3) 試験官が1回演奏する32小節の曲について、GかDのド・モード（アイオニアン）、GかDのレ・モード（ドリアン）、GかDのラ・モード（エオリアン）のいずれのモードであるかを答えなさい。またそう判断した根拠を答えなさい。  
例：  
ラ・モード（エオリアン）の曲：  
The Fermoy Lassies (Reel), The Kid on the Mountain (Slip Jig), The Old Goose (Double Jig), The Musical Priest (Reel)

## リサーチプロジェクト、ディスカッション・レパートリー 20点

### リサーチプロジェクト

グレード8のリサーチプロジェクトでは、ライブコンサートのレビュー（評論）を約1,000ワードにまとめなさい。演奏家の情報、日時、場所、演奏された曲、演奏の特徴と演奏家に関連する背景情報に加え、演奏に対する受験者の意見や感想も述べなさい。

### ディスカッション

リサーチプロジェクトの内容について質疑応答を行いなさい。関連する情報を記憶し、議論できるかが重要である。新しく発表された伝統音楽音源（ソロ、アンサンブル）について、過去にアイルランド国内、国外で録音された音源の影響について述べなさい。

### レパートリー

パフォーマンスセクションで演奏した曲以外に、最低60曲（少なくとも9つの異なるタイプの曲）を含むレパートリーリストを提示しなさい。レパートリーリストに挙げた曲は、すべて演奏でき、それぞれの曲の特徴などについて説明できなければならない。

### リテラシー 10点

次の3つのDメジャーのモードのスケールの1オクターブをそれぞれ下から上、上から下に演奏しなさい。レ・モード（ドリアン）、ラ・モード（エオリアン）、ソ・モード（ミクソドリアン） ラ、シ、ド#、レ、ミ、ファ#、ソ、ラ

Dメジャー、Gメジャー、Aメジャーの16小節のリール（2パートで繰り返しなし）の楽譜を、変化、流暢さ、全般の音とリズムの正確さに注意を払いながら初見で演奏しなさい。演奏を始める前に2分間の黙読が認められる。

## 上級演奏家認定

SCTの最終試験、上級演奏家認定は、グレード6と7に合格し、さらにグレード8で「優」以上の成績を納めた特筆した演奏技能のある奏者を対象とした試験です。

40－45分のソロリサイタルは、対象となる楽器を専門とする試験官を1名以上含む試験官によって審査される。

演奏は、一般公開され、以下の曲の種類から15曲以上のプログラムを構成しなくてはならない。リール、ダブルジグ、ホーンパイプ、スローエアー、バーンダンス、スライド、ポルカ、スリップジグ。試験当日に、タイプしたプログラムリストを審査員に提出しなくてはならない。審査員パネルには、対象となる楽器を専門とする奏者を1名以上が含まれる。

以下の3カテゴリーの音源を含めること。

- (a) 20世紀前半の初期音源
- (b) 発表されたコレクション、楽譜集の音源
- (c) 1980年以降に新たに作曲された曲

審査基準は以下の通り。

Interpretation	曲の解釈	45%
Technical Skills	演奏技術	35%
Choice of Programme	演目の選定	10%
Stage Presentation	ステージでの演奏	10%

## エレメンタリーサイクル 推奨曲

(他のグレードから選曲することも可能)

### ■ AIRS

- An Ghaoth Aneas
- The Castle of Dromore
- Seán Ó Duibhir a'Ghleanna
- Óró Bog Liom í
- Níl 'na Lá
- Rachaidh Mise
- Éamonn a'Chnoic
- Blind Mary
- Bog Braon
- Buachaill ón Éirne
- Siobhán Ní Dhuibhir
- Eibhlín a Rún
- An Goirtín Eoman
- Slán le Máigh
- Thugamar féin an Samhradh Linn
- Anonn 's Anall
- An Droimeann Donn Dóilis
- Gleantáin Ghlas Ghaoth Dobhair
- Sí Bheag, Sí Mór

### ■ DANCE TUNES

- An Coilleach ag Fógairt an Lae
- An Bóthar ó Thuaidh go hÁrann
- Were you at the Fair?
- Maggie in the Wood
- The Rakes of Mallow
- I have a Bonnet trimmed with Blue
- Teachín an Ghleanna
- An Bhó Chiarraíoch Peg
- Ryan's Polka
- John Brosnan's
- Follow me up to Carlow
- Nora Daly
- All the way to Barna
- Off She Goes
- John Kelly's Jig
- Maggie Pickins
- Donan's Mazurka
- Bhíosa Lá 'bPort Láirge
- East Limerick Polka
- Nead na Lachan sa Mhúta
- Cuirfimid Dandy
- Oh! The Britches full of Stitches
- Beidh Aonach Amárach
- Shoe the Donkey

### ■ MARCHES

- O'Neill's March
- Fáinne Geal an Lae
- Óró Sé do Bheatha 'bhaile
- God Save Ireland
- The Boys of Wexford
- Ding Dong Dederó
- The Foggy Dew
- The Three Flowers
- The Minstrel Boy
- O'Neill's Cavalcade
- Napoleon Crossing the Alps
- The Battle of Aughrim
- The Return to Fingal
- Kelly the Boy from Killane
- O'Donnell Abú
- The Harp that Once
- The Mountains of Pomeroy

## グレード 1-5 推奨曲

(ほかのグレードから選曲することも可能。スローエアーのリストは、グレード3, 4, 5用)

### ■ POLKAS

- Glen Cottage 1 & 2
- Brosna/O'Keeffe's/Ballydesmond 2
- Pádraig O'Keeffe's/Neil Fees/The Cascade
- Gullane Polka
- The Dark Girl Dressed in Blue
- The Banks of Inverness
- Britches buttoned on
- Donal Murphy's
- Ní Magadh Leat a Táimse
- As I went up on the Ice
- Ballydesmond 2 & 3
- Lackagh Cross
- Sweeney's Polka
- Tarrant's/The Blue Ribbon
- The Scartaglen/Denis Murphy's
- The East Limerick Polka 2
- The Spanish Lady
- Farewell to Whiskey
- The Dark Girl Dressed in Blue
- Terry Teehan's
- Donncha Lynch's/Dul dtí's na Rásanna

### ■ MARCHES

- Seán Nugent's March
- Bonny Prince Charlie
- The Battle of Aughrim
- Mo Ghiolla Mear
- Boyne Water
- Shane O'Neill's March
- I won't be a Nun
- Auchadon House
- McGuire's
- O'Sullivan's March
- Georgina's March

### ■ DOUBLE JIGS

- Scatter the Mud
- Saddle the Pony
- The Luck Penny
- The Humours of Glendart
- The Miller of Glanmire
- The Kesh Jig
- The Maids on the Green
- The Munster Jig
- Down the Back Lane
- Garret Barry's Jig
- Strop the Razor
- The Connacht Man's Rambles
- Old Tipperary
- The Rambling Pitchfork
- Paddy's Return
- Out in the Ocean
- Port Cill Channaigh
- An Buachailín Fionn
- Apples in Winter
- Fanning's
- The Geese in the Bog
- The Ship in Full Sail
- The Mist on the Meadow

### ■ SLOW AIRS (Grades 3, 4, 5)

- Port na bPúcaí
- Sliabh Geal gCua
- Táimse im'Chodhladh
- Coinnleach Ghlas an Fhómhair
- De Bharr na gCnoc
- Blind Mary
- A Spailpín a Rún
- Sé Fáth mo Bhuartha
- Úna Bhán
- Maidín Luan Chincíse
- Úr Chill an Chreagáin
- An raibh tú ag an gCarraig
- Amhrán na Trá Báine
- Ar Éirinn ní nEosfainn cé hí
- An Mhaighdean Mhara
- An Caisideach Bán
- The Ship in Full Sail
- The Mist on the Meadow
- The Dear Irish Boy
- Rocking the Cradle
- Bean Dubh an Ghleanna
- Sliabh na mBan
- Liam Ó Raghallaigh
- Mo Mhúirín Bán
- Aisling Gheal
- Seolfaimíd araon na Géanna romhainn
- Na Connerý's

### ■ HORNPIPES

- Ben Hill/Spellan's Fiddle/Callaghan's
- The Derry Hornpipe
- The Fisher (First Setting)
- The Friendly Visit
- Chief O'Neill's Favourite
- Alexander's Hornpipe
- The Plains of Boyle
- Kitty's Wedding
- Paddy O'Brien's
- The Few Bob
- An Comhra Donn
- The Home Ruler
- Cronin's
- Off to California
- The Boys of Blue Hill
- The Harvest Home
- The Tailor's Twist
- Cruach an Choire /Comphíopa Lady Alexander
- Comphíopa Uí Bhriain
- The Pleasures of Hope
- Garraí na bhFeileoig/Miss Galvin

## ■ SINGLE JIGS

- Stoneybatter/The Temple House/  
Grier's #37
- The Echoes of Killarney
- Barrack Hill
- The Peeler and the Goat
- Cock your Pistol Charlie
- Sergeant Cahill's Favourite
- Is it the Priest you want?
- Off She Goes
- Trip it up Stairs
- Rogha Mháire Uí Bhraonáin
- An Bristín Mire
- Elizabeth Kelly's Favourite
- What ails you
- Hunt the Cat
- Pléaracha Dhoire an Chreasáin
- Cis Ní Liatháin
- Port an Eachréidh

## ■ REELS

- The Lady on the Island
- The Concert Reel
- The Wind that Shakes the Barley
- The Boyne Hunt
- Drowsy Maggie
- The Skylark
- Miss Monaghan
- The Little Bag of Peaties
- The First House in Connaught
- The Sailor on the Rock
- The Bank of Ireland
- The Morning Star
- Gearrchaile Bhaile Mhistéala
- Gearrchaílín an Dhúin Mhóir
- The Sligo Maid
- The Star of Munster
- The Templehouse
- The Swallow's Tail
- The Red Haired Lass
- The Merry Blacksmith
- The Wise Maid
- The Belles of Tipperary
- The Tarbolton
- The Longford Collector
- The Sailor's Bonnet
- The London Lassies
- Morrison's Reel
- Last Nights Fun
- The Mountain Road
- Rolling in the Ryegrass
- The Humours of Tulla
- The Heather Breeze
- Ah! Surely
- The Union Reel

## ■ SLIP JIGS

- Hardiman the Fiddler
- The Foxhunter's Jig
- Drops of Brandy
- The Swaggering Jig
- The Boys of Ballisodare
- Cnoic Aitheannach Liatroma
- A Blast of Wind
- Dever the Dancer
- Humours of Whiskey
- Cuir bárr air
- The Dragon Fly
- The Honey Bee
- Comb your hair and curl it
- Eilish Kelly's Delight
- Gurty's Frolics
- Will you come down to Limerick

## グレード6-8 推奨曲

(他のグレードから選曲することも可能)

### ■ MAZURKAS

- Peeler Creek
- Sonny's Mazurka
- The Irish Mazurka
- An Fhalaigin Mhuimhneach
- Shoe the Donkey
- The Old Donegal Mazurka

### ■ FLINGS

- Mrs Galvin's
- John Roche's
- Love will you marry me
- Knockoran Fair
- Moneymusk
- An Buachaill Dreoitte
- Cuz Teahan's
- Up and Down the Hill
- Mary Brennan's Fling

### ■ SCHOTTISCHE

- Castles in the Air
- Sweet Flowers of Milltown
- The Festival
- Queen Anne's
- Green Grow the Rushes O!
- The Cat that Kitted in Jamie's Wig
- Miss Crawford
- Killarney Wonder

### ■ BARN DANCES

- John McKenna's
- The Curlew Hills
- Peach Blossoms
- If there weren't any women in the World
- The Belle of the Ball
- The Merry Priest
- Thart timpeall Lios na Síthe
- The Chaffpool Post

### ■ CLAN MARCHES

- The March of the King of Laois
- Maguire's March
- Mórmháirseál Uí Dhonnchú
- Allistrum's March
- Brian Boru's March
- O'Donovan's March
- O'Brien of Arra
- The First Clan March of the O'Sullivan's
- O'Sullivan's March
- McNamara's March
- Sir Patrick Bellow's March
- The Ulster Outcry
- The Leinster Outcry
- The Connaught Outcry
- The Munster Outcry

### ■ SET DANCES

- The Three Sea Captains
- The Garden of Daisies
- The Ace and Deuce of Piping
- The Kilkenny Races
- The Princess Royal
- Poll Ha'penny
- The Blackbird
- Madame Bonaparte
- King of the Fairies
- The Job of Journeywork
- Rub the Bag
- Jockey at the Fair
- The Hunt
- Bonaparte's Retreat
- The Lodge Road
- St Patrick's Day

### ■ SLOW AIRS

- Caoineadh Luimnigh (Marbhna Luimní)
- Casadh na nGéanna
- Loch na gCaor
- An Tiarna Mhaigh Eo
- The Wounded Hussar
- Cath Chéim an Fhia
- O'Raghallaigh's Grave
- O'Crowley's Dream
- Easter Snow
- An Speic Seoigeach
- The Parting of Friends
- Táimse i m'chodladh
- Amhrán na Leabhar
- An Draigheann
- Na Géanna Fáine
- The Lament for Staker Wallace
- Róisín Dubh
- Lord Mayo
- The Maid of Ballingarry
- Casadh na nGéanna Éire

## ■ REELS

- The Wise Maid
- Bonny Kate
- The Broken Pledge
- The Old Tom Pettycoat
- Rakish Paddy
- The Concertina Reel
- Farewell to Connacht
- The Mullingar Races
- The Templehouse Reel
- Within a mile of Dublin
- Paddy Ryan's Dream
- The Salamanca Reel
- The Chicago Reel
- Never was piping so gay
- The Wild Swans of Coole
- The Glen Fiddler
- The Leitrim Lilter
- The High Road The Garavogue
- The Punch Bowl Kilcoon
- Ríl an Spidéil

## ■ REELS-THREE PARTS OR MORE

- The Boys of Ballisodare
- Trip to Durrow
- The Maid of Mount Kisco
- Colonel Fraser
- The Humours of Ballyconnell
- Lord Gordon's
- The Graf Spey
- Christmas Eve
- Lord McDonald
- Miss McDonald
- Trim the Velvet
- The Jolly Tinker
- The Yellow Tinker
- The Bucks of Oranmore
- The Floggin Reel
- Lucy Campbell
- The Bunch of Keys
- Kilty Town
- The Red Bee
- Bunker Hill
- The Girl that broke my heart
- The Ballinasloe Fair
- The Dublin Reel

## ■ SINGLE JIGS

- Get up Old Woman and Shake Yourself
- Behind the Bush in the Garden
- Paddy McFadden
- Sergeant Cahill's Favourite
- The Humours of Limerick
- The Fowler on the Moor
- The Humours of Kilclogher
- Ask my Father

## ■ SLIP JIGS

- The Barony
- The Leitrim Quickstep
- Moll Roe
- The Butterfly
- Kitty come down to Limerick
- Will you come down to Limerick
- A Blast of Wind
- Hardy Man the Fiddler
- Give us a drink of water
- Riding a mile
- Elizabeth Kelly's Favourite
- Drops of Brandy
- The Boy in the Bush
- The Kid on the Mountain
- Gusty's Frolics

## ■ DOUBLE JIGS

- The Pipe on the Hob
- The Carraroe Jig
- Rosemary Lane
- Sliabh Russell
- Seán Mac Glynn's Jig
- Tell her I am
- Nora Críonna
- Port Sheáin Sheosamh
- Sean Tiobraid Árainn
- The Wheels of the World

## ■ DOUBLE JIGS-THREE PARTS OR MORE

- The Luckpenny
- Cherish the Ladies
- The Humours of Ennistymon
- The Doberman's Wallet
- Banish Misfortune
- The Humours of Ballyloughlin
- Paddy O'Rafferty
- Connie O'Connell's Jig
- The Cook in the Kitchen
- Doctor O'Neill's
- The Chorus Jigs
- The Monaghan Jig
- Strike the Gay Harp
- The Killimor
- Gillian's Apples
- The Frieze Britches
- The Old Grey Goose
- Tom Billy's
- The Blarney Pilgrim
- The Gold Ring
- The Battering Ram
- The Langstern Pony



## ■ PLANXTIES

- Lord Inchiquin
- Colonel John Irwin
- Planxty Irwin
- First Air John Drury
- Planxty Drury
- Planxty Burke
- Planxty Drew
- Planxty McGuire
- Planxty Sudley
- Planxty John O'Connor
- Planxty George Brabazon
- Planxty O'Rourke
- Planxty Johnston
- Planxty Madame Maxwell
- Eleanor Plunkett
- Planxty Browne

## ■ HORNPIPES

- Fuaim na Farraigne
- The High Level
- An Móinteáin
- The Exiles Return
- Flaherty's Hornpipe
- Old Man Quinn
- The Shaskeen
- Johnny Cope
- Chief O'Neill's Favourite
- Kitty's Wedding
- The Liverpool Hornpipe
- Spellan the Fiddler
- The Sweep's Hornpipe
- The Quarrelsome Piper
- The Groves

## ■ SLIDES

- Art O'Keefe's
- Dawley's Delight
- Quarry Cross
- I'd rather be married than left
- Chase me Charlie
- The Kilcummin
- Slide An Chóisir
- The Lisheen Slide
- Eibhlín Ní Riordáin
- Bidy from Sligo
- Ceol a'Mhála
- Óró Bhuachaillín
- Merrily Kiss the Quaker's Wife
- The Bunratty Boys
- Denis Murphy's Slide
- The Brosna Slide
- Johnny Mickey's Slide
- Denis O'Keefe's Slide
- The Hare in the Corn
- If I had a Wife
- John Kelly's Slide
- Dan O'Keefe's Slide
- The Glen Cottage Slide
- Danny Abs'
- The Star above the Garter
- Daithín Davy's
- The H Note
- Tuar Slide
- Johnny O'Leary

